

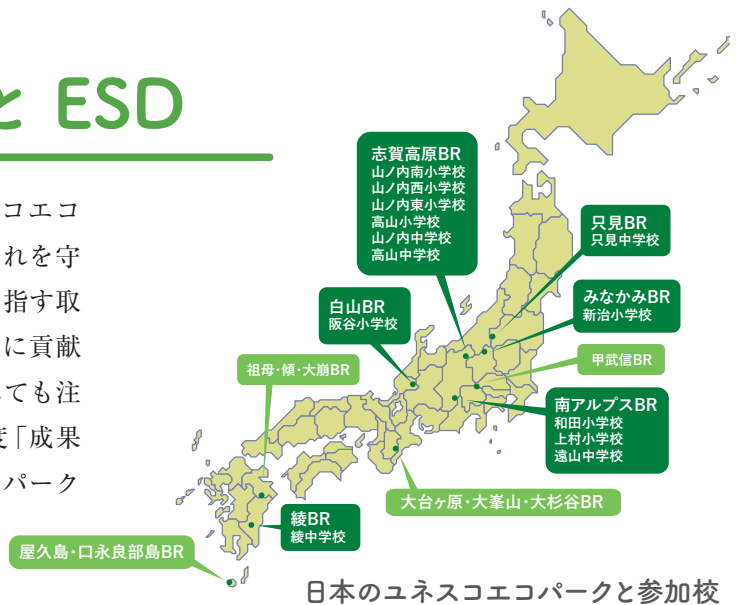
ユネスコエコパークと共に学ぼう

令和4年度 信州ESD/SDGs
ユネスコスクール 実践事例集



ユネスコエコパークとESD

自然と人の調和と共生を目指す取り組み、ユネスコエコパーク。ユネスコエコパークにはすぐれた自然や、それを守り活かしてきた歴史や文化、また持続可能な社会を目指す取り組みなどの学習資源があることから、SDGsの実現に貢献するESD(持続可能な開発のための教育)実践の場としても注目されています。このリーフレットでは、令和4年度「成果発表&交流会」の発表から、全国各地のユネスコエコパークを活用したESD/SDGsの実践事例を紹介します。



日本のユネスコエコパークと参加校

テーマアイコン説明	自然	循環型社会	伝統・文化	共生
	森林	リサイクル	伝統文化	防災
	海	農業	歴史	国際交流
	希少種	ゴミ	音楽	人権
	鳥獣害	産業		町づくり
		気候変動		ジェンダー

只見ユネスコエコパーク

【福島県】只見町立只見中学校

地域とともに学び続ける中学生 ～山あいから海を守る活動を通して～

3年前から私たちは、海を守る活動(ビーチクリーン、ペットフリーマンデー)を開始しました。校内での取り組みには限界があることに気づき、地域を巻き込みながら実際の活動を進めています。また、自校生徒の意識にも温度差があることを知り、その見直しを試みています。先輩たちが取り組んできた活動を伝統として受け継ぎながら、校内や地域の課題解決に向けて、日々試行錯誤しています。

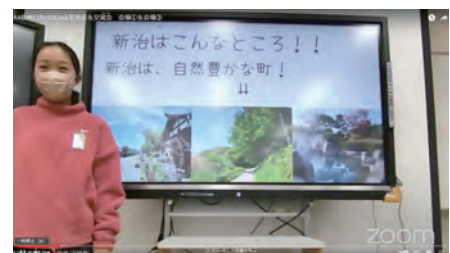


みなかみユネスコエコパーク

【群馬県】みなかみ町立新治小学校●5年生

調べよう 新治の自然

「調べよう 新治の自然」をテーマに、日本を代表する豊かな生態系が息づく「赤谷の森」の実態を知り、郷土の自然の素晴らしさを感じ取りながら、新治の自然を体験しました。この活動では、「地形」、「植物」、「動物」の3つのテーマに分かれて探求活動を行い、赤谷の森が抱える問題である「ニホンジカの増加」について課題意識を持ちました。専門家への質問や児童同士の交流を通して、今後の人間とニホンジカの付き合い方について考えました。



志賀高原ユネスコエコパーク

【長野県】山ノ内町立南小学校●3年生



地域のSDGs探検隊

SDGsの基礎知識を学び、子どもたちは身近なものをSDGsの視点で見ることを学びました。子どもたちはSDGsを考え、地域の清掃活動を行ったり、街をきれいにすることを呼びかけるポスターを作成したり、牛乳瓶のふたをはがきにリサイクルする活動を行いました。

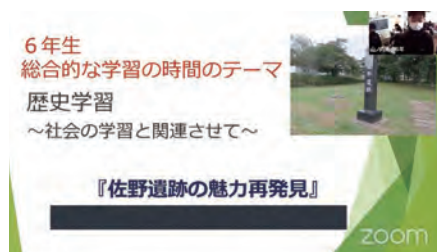


【長野県】山ノ内町立南小学校●6年生



佐野遺跡の魅力再発見

学校の隣にある佐野遺跡（縄文時代晩期の遺跡）について探究活動をしてきました。生徒たちは、土器を作ったり、住居を再現したりしながら、縄文時代の人々がどのような生活をしていたかを学びました。今後、この学びをどのように発信していくかを考えます。



【長野県】山ノ内町立西小学校●2年生



小さな命、大きな命とわたしたちとともに

自分たちが周りのものと共に生活していることや、命あるものとして生きていることを知ることを目標に、身近な虫や草花を発見したり、大豆を育てて調べたり、季節を感じたりする活動を行いました。活動を通して子どもたちは、身近な自然を再発見し、食べることへの意識が高まり、また季節感を育むことができました。また実践を通じて、興味関心が広がるとともに、学習のつながりが生まれはじめました。



【長野県】山ノ内町立東小学校●4年生



ぼくのわたしのコカリナ

志賀高原生まれの楽器「コカリナ」について学習してきました。子どもたちは、「たくさんの曲を上手に演奏できるようになりたい」という願いを持ち、おうちの人に聴いてもらったり、志賀高原遠足で山で吹いてみたり、音楽会・コカリナフェスティバルで発表するなどの活動を行ってきました。さらに、「もっとコカリナについて知りたい」という願いを強め、コカリナの工房に関心を寄せたり、コカリナの種類や素材を調べたり、お世話になった方への感謝の会を計画しています。



【長野県】高山村立高山小学校●5年生



高山村の『もの・人・こと』や環境から学び、地域のためにできることを見つけよう

地域の保護者と子供たちが一緒に「わくわく村」の活動を通じて村の良さを学び、村の産業であるりんごや米作りの体験、美しい村連合の一村として将来に引き継ぎたい観光資源の調査活動、現代の環境問題の解決や共生社会について、自分たちができることに取り組んでいます。今年度は、「しらかば学習発表会」を3年ぶりに開催し、各学級の取り組みを保護者に発信しました。



【長野県】山ノ内町立山ノ内中学校



志賀高原ユネスコエコパークの魅力を探り発信しよう

「志賀高原ユネスコエコパークの魅力を探り発信しよう」というテーマのもと、以下の5つの大領域に分けて課題追求を進めてきました：①自然と人間の共生、②自然資源の活用、③地域資源の活用、④文化資源の活用、⑤国際理解関係。今回は、「志賀高原の自然についてもっと知ろう」というテーマで、絶滅危惧種と外来種について追及した自然Eグループと、「身近な取り組みから二酸化炭素排出量を減らしたい」というテーマで、山ノ内町の森林面積とCO₂排出量の分析を行った地域Aグループの学習実践を発表します。

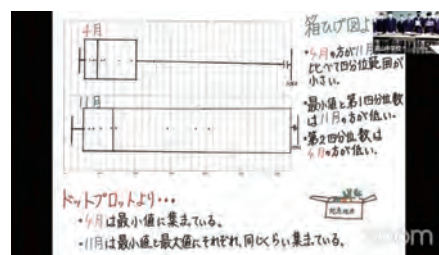


【長野県】高山村立高山中学校



数学でフードマイレージを考える

高山村の学校給食センターは、地産地消に力を入れています。そこで、学校給食における地産地消の取り組みとその効果を、数学的な手法を用いて分析・評価しました。フードマイレージや食品ロスを減らすための取り組みの効果を、「箱ひげ図」を使って比較・分析し、その結果を学校全体で共有しました。



南アルプスユネスコエコパーク

【長野県】飯田市立和田小学校●5年生



米作り

「米作り」は、毎年5年生が総合的な学習の一環として取り組んでいます。4月には、「米作り、楽しみだな」「米作りのやり方を覚えるぞ」と関心を持っていた5年生が社会科の「米作りのさかんな地域」の学習で、庄内平野の課題に出会い、「日本のお米を守っていこう」という「米作り」の学習テーマを真剣に考えるようになりました。地域の方との「米作り」の体験を生かしながら、自分たちに何ができるのか、今できることは何かを学習しています。



【長野県】飯田市立上村小学校●5・6年生



上村をPRしよう！

上村小学校では、主に総合的な学習の時間に、上村地区の魅力を広めるための活動について考えてきました。その中で、SDG15「陸の豊かさを守ろう」に関わる野菜（しいたけ・下栗いも・そば）や花の栽培・販売活動、SDG11「住み続けられるまちづくりを」に関わる東京の母子生活支援施設との交流など、上村の魅力とSDGsを関連付けて幅広く活動してきました。



【長野県】飯田市立遠山中学校



生徒会を中心とした、遠山郷でのSDGs活動

「地域のために自分たちも何かをしたい」という思いから始まった「遠山郷を守ろうプロジェクト」は、平成27年に誕生した生徒会が主体となる活動です。この活動は、学校周辺のゴミ拾いから始まり、今では地域の方が利用する施設や、観光客が訪れる場所の清掃も対象としています。地域の方々の要望も取り入れながら、中学生も地域の一員としてお役に立てることを考えながら活動しています。また、学校で育てた花を地域の施設に届けたり、学有林学習を行ったり、文化祭で郷土の舞を発表したりするなど、地域の未来を考えた活動を行っています。



白山ユネスコエコパーク

【福井県】大野市阪谷小学校●5・6年生



星空プレゼンテーション

福井県大野市南六呂師地区は、令和5年度の星空保護区認定を目指しています。この地区に含まれる阪谷小学校では、星空の魅力を学びまとめ、発信することで認定を目指しています。また地域の魅力も発信しながら、持続可能な地区を目指して活動しています。



綾ユネスコエコパーク

【宮崎県】綾町立綾中学校



SDGs達成に向けての生徒会活動報告

生徒会活動として、「Vision ~新たな視点で開く持続可能な世界~」をテーマにSDGsの達成に向けた活動を行いました。ペットボトルキャップの回収、ゴーヤプロジェクト、ジェンダーに関する講習、エコバッグの作成など、様々な活動を行いました。また、総合的な学習の時間では、3年生がユニクロ服のチカラプロジェクトに取り組みました。



その他の地域での ESD

地域の資源や社会に目を向け、その持続可能性を追求する学習活動は、ユネスコエコパークに限ったものではありません。ここでは、長野県内のその他の地域の学校でのESD/SDGsの実践事例を紹介します。

【長野県】

学校法人いづな学園

グリーン・ヒルズ小学校 ● 3・4年生



わたしたちのりんご園と消費と生産のつながりを見つめて

一年間りんごの栽培から販売までの活動に取り組んできました。私たちがどのように社会とつながって生活しているのかということ、活動を通して子ども達が学んだことについて発表します。



【長野県】

学校法人いづな学園

グリーン・ヒルズ小学校 ● 5・6年生



世界の子供達のために 私たちにもできる小さな一歩

「平等な機会にアクセスできることは人類に豊かさをもたらす」というテーマで学習しました。世界の子供達が平等な教育の機会にアクセスできるように、自分たちに何ができるか考えました。



【長野県】

信州大学教育学部附属長野小学校

● 6年生



私の土器作り

4年生から、クラスの中心的活動として土器作りを行っています。学校の土から粘土を取り出し、自分の表現したいものに合わせた作品を制作しました。土器作りを通して自分自身が成長したと感じています。



【長野県】

長野市立東条小学校

● 6年生



ホタルのふるさと東条

「ホタル活動」の3年目として、生息環境の保全活動や広報活動を行ってきました。6月に開催した観察会では、東条地区で300匹あまりのホタルを観察することができました。卒業を前にして、後輩にこの活動を引き継ぐための取り組みを進めています。



【長野県】

長野市立信里小学校

● 3・4年生



里山の恵み ~信里に住む生き物とのふれあい~

信里には数多くあるため池、里山の重要な環境です。生き物に興味を持った子どもたちは、トカゲ・カナヘビ・トンボを追いかけ観察を続けてきました。また絶滅危惧種のシナイモツゴ学習を通して、信里の環境を守るためにどうすればよいかを考えました。



【長野県】

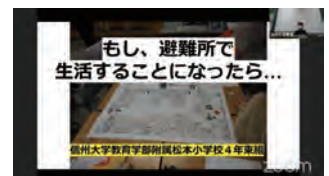
信州大学教育学部附属松本小学校

● 4年東組



もし、避難所で生活することになったら…?

松本市は大地震に見舞われる可能性が高いことを知った子供たちは、地震について学び、避難所とは何か、どう行動すればいいか考えました。日赤奉仕団の協力による避難所体験ゲームや炊き出し体験などの活動を通じて、災害時に生き残るためにどうすればよいかを考えました。

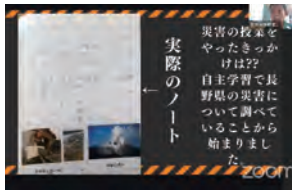




【長野県】
信州大学教育学部附属松本小学校
● 4年西組

レジリエンストイレ体験、起震車体験、
避難所宿泊体験全部自分たちで
やってみよう!!

附属松本小学校4年西組は、避難所でトイレが上位の問題だということを知り、大地震を起震車で体感し、避難時の水栓を体験し、避難所になっている学校で実際に宿泊する活動を行いました。自ら問いを持って調べ、調査結果を実証することで、実感の伴った学びを得ることができました。



【長野県】
茅野市立永明小学校
● 4年生

エゴマから油を搾ってつり手土器に
火を灯そう

永明小学校4年2部では、縄文時代のランプ『つり手土器』について学習しています。火を灯すために必要な油を自分たちで手に入れるため、仲間や地域の方と協力しながら、エゴマを栽培して搾油に挑戦しました。今回は、これまでの学習過程を発表します。



【長野県】
信州大学教育学部附属長野中学校
● 1年生

持続可能な社会の実現に向けて

附属長野中では、中1の総合的な学習の時間に、持続可能な社会に向けて必要なことを考える学習として、個々の生徒が追究課題を設定して答えを出していく活動を行っています。その中から今回は二組の追究を発表します。①ロシアウクライナ戦争について ②絶滅危惧種について



【長野県】
文化学園長野中学校
● 3年生

ART MILE PROJECT

今年度、インドの学校と、壁画を完成させるアートマイルプロジェクトに参加しました。お互いの意図が伝わらないオンライン交流の限界や、異文化理解とは何かを考えた1年でした。それでも精一杯できることをし、クラスで協力して1枚の壁画を仕上げたことは、中学最後の忘れられない思い出です。



【長野県】
文化学園長野中学校
● 生徒会

廃油石鹸プロジェクト! ~4つのRで、
海の豊かさを山の私たちから守る~

家庭から出る廃油が川の汚染に大きくかかわっていることを知り、廃油せっけんを制作し、文化祭や地域イベントで販売しました。途中、廃油せっけんが合成洗剤よりも環境に負荷をかけているという調査結果を見つけ、自分たちで条件設定して「本当にそんなの」を探りました。



【長野県】
根羽村立義務教育学校根羽学園

根羽学園の総合的な学習の時間

本校では、9年間を通じて村の森林資源を題材にESDを実施し、自然体験を通じた多数の学習を行っています。今回は、根羽村を盛り上げるための活動として、松ぼっくりを使ったふくろう作り、ジビエを活用した商品作りについて発表します。



【長野県】
中野西高等学校



脱プラ・地域復興『麦ストロー制作』

ESD 珈琲倶楽部の活動の中で、ストローの脱プラを目指して、麦ストロー作りに挑戦しました。予想以上に手間がかかることを実感し、まだ課題が残ると考えた一方で、販売時にお客様に喜んでもらえたことが誇りとなり、活動を継続しています。



【長野県】
文化学園長野高等学校 ● 1 年生



LGBTQ についての課題

中2から探究し続けているのが、制服をジェンダーレスにすること。形だけを変えても、社会が寛容にならなければ意味がないと感じ、今年度は、同性婚やパートナーシップ制度などの法的妥当性と人権の関係を探ります。



【長野県】
文化学園長野高等学校 ● 2 年生



ナノプロ！
～耕作放棄地に新たな役割を～

長野市の観光振興を考えているときに知った、耕作放棄地の問題。観光農業として復活できないか模索する中で出会ったのが、長野市長沼地区のひまわり畑でした。この畑の持ち主さんとの交流や、仲間たちの協力、耕作放棄とはいったい何なのかを探究しました。



【長野県】
文化学園長野高等学校 ● 生徒会



生徒会における SDGs 活動

今年度はコロナ禍で感じた校内の閉塞感を払拭するため、「とにかくやってみよう」という精神で、SDGs に関する様々な活動を行いました。社会問題の解決に向けて高校生にできることは何かを探り、実践しました。



【長野県】 文化学園
長野高等学校 ● 中高自然科学部



里山での活動（自然科学部）

一年を通じた飯山市豊田小境地区にある棚田と裏山での活動(稲作、森林整備、ブナ林散策など)を中心に、そこで得られたものを利用したり(イナゴの佃煮づくり、納豆作り)、校庭での野菜作りなどを行っています。



【長野県】
上田西高等学校



上田西学びプロジェクト (UNMP) & 国際交流

SDGs を取り入れた活動として、千曲川の流木を使ったアートの作成や、森林伐採体験を行いました。生徒会が主体となって開催する上田西学びプロジェクト (UNMP) では、SDGs のゴールに沿った講座を生徒自らが考え、開講しています。また国際交流も行っています。



ユネスコエコパークと共に学ぼう

令和4年度 信州ESD/SDGs ユネスコスクール 実践事例集

発行日：令和5年8月4日

発行：信州大学教育学部(信州ESDコンソーシアム)

〒380-8544 長野県長野市西長野6-0

TEL：(026) 238-4034 mail：kyoesd@shinshu-u.ac.jp

編集：水谷 瑞希(信州大学教育学部
信州ESDコンソーシアムコーディネーター)

この冊子は、令和5(2023)年度 文部科学省SDGs 達成の担い手育成(ESD)推進事業により作成しました。



令和4年度信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会の様子はこちらからご覧いただけます。

▶ <https://esd-nagano.org/conference2023/>

